

海軍公報 第二千四號

昭和八年十月十六日(月)
海軍大臣官房

○通牒

官房第四五二二號ノ三

昭和八年十月十六日

海軍省副官

在京各廳長殿

奉送迎ニ關スル件通牒

天皇陛下陸軍特別大演習御統裁ノ爲本月二十二日午前八時東京驛御發車福井縣下へ行幸京都府下へ御立寄同三十一日午後五時十分東京驛御着車還幸被在候ニ付公務ニ差支ナキ高等官ハ右時刻三十分前同停車場へ參集奉送奉迎ノコトニ定メラレ候條御了知相成度
服裝 通常禮裝

○辭令

海軍少佐 石畑 四郎

第一課勤務ヲ命ス(計海軍省軍需局)

○雜款

○總代

天皇陛下陸軍特別大演習御統裁ノタメ來二十二日東京御發車福井縣下へ行幸アラセラルルニ付勅、奏任官總代トシテ當日東京驛ニ於テ奉送スベキ旨左記諸官ニ訓令セラレタリ

勅任官總代 海軍少將 津田 靜枝
奏任官總代 海軍大佐 佐藤 市郎

○命名式舉行

一、左記ニヨリ各報國號飛行機ノ命名式ヲ舉行セラル

記

(一) 飛行機番號、名稱、其ノ他

報國號番號	名稱	機種	獻金者
第三十八號	川村號	九〇式艦上戦闘機	東京市京橋區川村 徳太郎

海軍公報 第二千四號 昭和八年十月十六日

一〇三九

0433

初春、子日、区栗、柿、梅、榆、区水無月、
 臯月、文月、長月、区夕月、望月、三日月、
 菊月、区卯月、陸月、如月、彌生
 区二二、区二四、区二五、区二九、
 区三〇、区三二、区三八、区四四、
 区六三、区六一、区六〇、区六二、
 区六二、区六一、区六四、区六〇、
 伊五九、伊六三、区伊六五、伊六六、
 伊六七
 敷島、野島、佐多、知床、鶴見
 区蓬、区蓮、区麥
 区美蓉、朝顔、刈萱
 区能登呂
 区平戸
 区出雲、区妙高
 区董
 区對馬
 区浦風、区桃
 区檉、区柳
 区安宅、区伏見、区二見、区鳥羽、区比良、区隅田、
 区宇治、区天龍、区勢多
 区檜、区葦、区菱
 区保津
 区吳竹、区若竹、区早苗

【香 港】 嵯峨
 【作業地】 駒橋
 【航海中】
 熱海 (十三日南京發—漢口へ)
 磐手、淺間 (十五日佐伯發—江田内へ)
 堅田 (十五日上海發—蕪湖へ)
 大和 (十五日舞鶴發—橫須賀へ)
 洲崎 (十五日橫須賀發—徳山へ)
 早輦 (十六日「オ」發—徳山へ)
 襟裳 (十六日佐世保發—馬公へ)

(部内限二頁)

G436

海軍公報 第二千五號

昭和八年十月十八日(水)
海軍大臣官房

○辭令

海軍技師 澤村農夫衛
第一部附ヲ命ス(其前海軍艦政本部)

○雜款

○司令驅逐艦變更
第十六驅逐隊司令ハ昨十七日司令驅逐艦ヲ一時芙蓉ヨ
リ刈萱ニ變更セリ

○軍艦天龍行動豫定
地名 着 發
上海 十月二十三日
吳 十月二十五日

○郵便物發送先
軍艦天龍宛
十月二十日迄佐世保ニ到達見込ノモノハ
佐世保局氣付

其ノ後ハ

吳

○移轉
臨時海軍防備隊廳舎ヲ本月十日左記ニ移轉セリ
滿洲國哈爾濱奉天路三五〇號

退役海軍中將從二位勳二等男西紳六郎一昨十六
日薨去、本十八日午後二時ヨリ同三時迄東京青山
齋場ニ於テ佛式ニ依リ告別式執行

豫備役海軍藥劑少將從四位勳三等磯野周平一昨十
六日卒去、本十八日午後二時ヨリ同三時迄東京市
芝區二本板二丁目高野山東京別院ニ於テ佛式ニ依
リ告別式執行

豫備役海軍軍醫少佐正六位勳六等山田岸松去月十
六日愛媛縣越智郡立花村島生七五三ニ於テ死去

0457

○艦船所在 印ハハホフ
指定ヲ要セズ

○十月十八日午前十時調

【横須賀】

日進▲、山城、八雲、北上、赤城、五十鈴、春日、木曾、比叡、白鷹、口金剛、▽鳳翔、

▽鳥海、高雄、摩耶

▽沖風、峯風、矢風、澤風、▽潮、曙、

朧、▽天霧、朝霧、夕霧、▽神風、野風、

波風、沼風、▽松風、春風、旗風、朝風、

▽狹霧

富士▲、尻矢、膠州、鳴戸、神威

【長浦】

横、▽汐風、島風、灘風、夕風、▽電、

雷、響、漣、曉

呂二〇、呂二一、呂二二、▽呂五九、

呂五七、呂五八、▽呂五五、呂五四、

呂五六、▽伊一、伊二、▽伊四、伊三

▽掃五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六

【芝浦】

殿島

【鳥羽】

伊二三、伊二四

【大湊】

秋風、帆風、太刀風、羽風

【吳】

檣名、矢矧、那珂、大井、長鯨、扶桑、古鷹、那智、伊勢、勝力、龍驤、鬼怒、

長門、▽日向、▽阿武隈、加古、▽神通、

▽球磨

江風、谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、

綾波、浦波、敷波、▽磯波、吹雪、薄雲、

▽藤▲、萩▲、薄▲、▽深雪、白雪、初雪、

▽白雲、叢雲、東雲

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、

呂五三、▽呂六五、呂六六、呂六七、

伊五二、伊五一、伊五、▽伊二二、

伊二一、▽伊五四、伊五三、伊五五、

▽伊五八、伊五六、伊五七

掃七、掃八、掃九、掃一〇、▽掃一三、掃一四

石廊、攝津、隱戸、朝日、間宮

(伊六八)

【大阪】

(真鶴)

【江田内】

▽磐手、淺間

【高松】

▽韓崎

【德山】

呂二六、呂二七、呂二八

【舞鶴】

洲崎

【佐世保】

吾妻▲、多摩

【千鳥】

呂三一

【友鶴】

足柄、羽黑、川内、霧島、長良、龍田、八重山、常磐、陸奥、由良、名取、▽夕張、

▷迅鯨、加賀、▷青葉、衣笠

梨、竹、樞、▷夕風、朝風、追風、疾風、
初春、子日、▷栗、柿、梅、榆、▷水無月、
皐月、文月、長月、▷夕月、望月、三日月、
菊月、▷卯月、睦月、如月、彌生

呂二三、呂二四、呂二五、▷呂二九、
呂三〇、呂三一、▷呂六八、呂六四、
呂六三、▷呂六一、▷呂六〇、▷呂六二、
▷伊六二、▷伊六一、▷伊六四、▷伊六〇、
▷伊五九、▷伊六三、▷伊六五、▷伊六六、
▷伊六七

【鎮】海▷蓬、蓮、蓼
【旅】順▷刈萱、朝顏

【安】東▷芙蓉
【大】連▷能登呂

【青】島▷平戶
【上】海▷出雲、妙高

【南】京▷對馬
【燕】湖▷墾田

【九】江▷浦風
【漢】口▷安宅、伏見、二見、鳥羽、比良、隅田、

宇治、勢多
▷櫻、柳、桃、檜

【沙市】保津

【馬尾】▷吳竹、若竹、早苗

【廣東】嵯峨

【作業地】駒橋

【航海中】

熱海 (十三日南京發—漢口へ)

大和 (十五日舞鶴發—橫須賀へ)

淀 (十六日旅順發—吳へ)

早鞆 (十六日「オ」發—徳山へ)

襟裳 (十六日佐世保發—馬公へ)

室戸 (十六日徳山發—舞鶴へ)

天龍、葦、菱 (十七日漢口發—上海へ)

青島 (十七日橫須賀發—佐世保へ)

愛宕 (十八日吳發—危ヶ首へ)

(部内限一頁、同號外四頁)

0439

海軍公報 第二千六號

昭和八年十月十九日(木)
海軍大臣官房

○令達

官房第一五〇五號ノ二一
昭和八年度歳出科目中左ノ通追加ス
昭和八年十月十九日

歳出臨時部 海軍大臣

款	項	目	解	疏	會計科目 電信略號
(管轄費)					
	舞鶴要港部道路 及建造物修繕費				ラミ
	道路及建 造物修繕				ラシ

○辭令

海軍少佐 大橋富士郎
總務部第一課勤務ヲ命ス(計海軍航空本部)

○雜款

○特務艦隱戸行動豫定
地名 着
吳 山 十月二十一日 十月二十一日 發
德 山 十月二十四日 二十四日
吳 山 十月二十四日 二十四日

○特務艦鶴見行動豫定
地名 着
佐世保 十月二十五日 十月二十四日 發
德山 十月三十日 二十七日
横須賀 十一月二日 十一月一日
名古屋 十一月三日 三日
神保社 十一月九日 五日
佐世保 九月九日 九日

○郵便物發送先
特務艦隱戸宛
十月二十日迄ニ到達見込ノモノハ 吳
同 二十三日迄ニ 同 德山

海軍公報 第二千六號 昭和八年十月十九日

一〇四七

0440

其ノ後ハ

吳

特務艦鶴見宛

十月二十三日迄ニ到達見込ノモノハ

同 二十六日迄ニ 同

同 三十日迄ニ 同

十一月二日迄ニ 同

同 四日迄ニ 同

佐世保 徳山 横須賀 名古屋 三重縣神社 佐世保

特務艦青島宛

十月二十三日迄ニ到達見込ノモノハ

同 二十六日迄ニ 同

十一月二日迄ニ 同

同 七日迄ニ 同

同 十二日迄ニ 同

同 十七日迄ニ 同

佐世保 吳 横須賀 大湊 横須賀 吳 横須賀

0441

○艦船所在

▲印ハ「ハホ」ヲ指定シテ要セズ

○十月十九日午前十時調

【横須賀】

日進▲山城、八雲、北上、赤城、五十鈴、春日、木曾、比叡、白鷹、口金剛、口鳳翔、

口鳥海、高雄、摩耶

口沖風、峯風、矢風、澤風、口潮、曙

朧、口天霧、朝霧、夕霧、口神風、野風、

波風、沼風、口松風、春風、旗風、朝風、

口狹霧

富士▲、尻矢、膠州、鳴戸、神威

【長浦】

檣、口汐風、島風、灘風、夕風、口電、

雷、響、漣、曉

呂二〇、呂二一、呂二二、呂五九、

呂五七、呂五八、呂五五、呂五四、

呂五六、口伊一、口伊二、口伊四、伊三、

口掃五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六

芝浦

館山

名古屋

大湊

吳

口日向、口阿武隈、加古、口神通、口球磨、

口磐手、淺間

江風、谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、

口綾波、浦波、敷波、口磯波、吹雪、薄雲、

口藤▲、葛▲、萩▲、薄▲、口深雪、白雪、初雪、

口白雲、叢雲、東雲

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、

呂五三、口呂六五、呂六七、口伊二二、

伊二一、口伊五四、伊五三、伊五五、

口伊五八、伊五六、伊五七

掃七、掃八、掃九、掃一〇、口掃一三、掃二四

石廊、攝津、隠戸、朝日、間宮

(伊六八)

【大阪】(真鶴)

【危ヶ首】愛宕

【高松】韓崎

【長濱】呂二六、呂二七、呂二八

【舞鶴】鬼怒

呂六六、口伊五二、伊五一、伊五

口葵、夕顔、菊

室戸

【佐世保】(千鳥)、(女鶴)

足柄、羽黒、川内、霧島、長良、龍田、

0442

八重山、常磐、陸奥、由良、名取、夕張、
 迅鯨、加賀、青葉、衣笠
 梨、竹、樞、夕風、朝風、追風、疾風、
 初春、子日、栗、柿、榊、楡、水無月、
 皐月、文月、長月、夕月、望月、三月月、
 菊月、卯月、陸月、如月、彌生
 呂二三、呂二四、呂二五、呂二九、
 呂三〇、呂三一、呂六八、呂六四、
 呂六三、呂六一、呂六〇、呂六二、
 伊六二、伊六一、伊六四、伊六〇、
 伊五九、伊六三、伊六五、伊六六、
 伊六七
 敷島、野島、佐多、知床、鶴見
 鎮海、蓬、蓮、蓼
 旅順、刈萱、朝顔
 安東、芙蓉
 大正家島、能登呂
 青島、平戸
 上海、出雲、妙高
 葦
 南京、對馬
 蕪湖、壘田
 九江、浦風
 漢口、安宅、二見、鳥羽、比良、隅田、宇治、
 勢多

沙市 保津
 馬尾 吳竹、若竹、早苗
 廣東 蟻蛾
 作業地 駒橋
 航海中
 熱海 (十三日南京發—漢口へ)
 大和 (十五日舞鶴發—橫須賀へ)
 淀 (十六日旅順發—吳へ)
 早瀬 (十六日「オ」發—徳山へ)
 襟裳 (十六日佐世保發—馬公へ)
 天龍、葦、菱 (十七日漢口發—上海へ)
 青島 (十七日橫須賀發—佐世保へ)
 伏見 (十八日漢口發—長沙へ)
 洲崎 (十九日徳山發—旅順へ)

(部内限録附一葉)

0443

海軍公報 第二千七號

海軍大臣官房

昭和八年十月二十日(金)

○通牒

官房第四六六〇號

昭和八年十月二十日

海軍省 副官

在京各廳高等官殿

靖國神社例大祭ニ關スル件申進

來二十三日靖國神社例大祭ニ付當日午前八時三十分迄

ニ同社拜殿ニ參著相成度

服裝 武官ハ正裝、文官ハ大禮服

○辭令

○昭和八年十月二十日

任海軍書記 海軍一等主計兵曹 山崎久太郎

給五級俸

任海軍書記

給九級俸

小澤孝一

任海軍技手

勳八等 三浦角五郎

給六級俸

任海軍技手

井上甚一

給七級俸

海軍書記 恩田時之輔

給二級俸(特別海軍省)

海軍大佐 塚原二四三

軍艦赤城在役艦タル間同艦長在職中特別俸ヲ賜フ

海軍航空本部附ヲ命ス 海軍書記 山崎久太郎

水路部附ヲ命ス

同 小澤孝一

横須賀海軍建築部勤務ヲ命ス

同 三浦角五郎

同

井上甚一

佐世保海軍工廠勤務ヲ命ス

同

水路部ニ於ケル測量事務ヲ囑託ス

宮原 宣

海軍公報 第二千七號

昭和八年十月二十日

一〇五一

0445

但シ報酬月額百圓ヲ給シ部内限奉任官待遇トス
(以上同)

海軍兵曹長 土屋 金次郎

海軍艦政本部ニ於ケル事變關係造兵業務ヲ囑託ス
但シ報酬月額五拾圓ヲ給シ部内限判任官ヲ以テ待
遇セラル(海軍艦政本部)

○ 雜 款

○命名式舉行

左記ニヨリ報國第五十三號(青森號)飛行機(青森縣
縣民ノ獻金ニヨリ製造ノ九〇式二號水上偵察機)命名
式ヲ舉行セラル

(一) 時 (開式時刻)

十月二十八日(土曜)〔雨天順延〕午後二時

(二) 場 所

青森市合浦公園

(海 軍 省 副 官)

○特務艦佐多行動豫定

地名 着

佐世保

德 山

十月二十七日

十月二十六日

二十九日

舞 鶴 三十一日 十一月二日
德 山 十一月四日 六日
佐世保 七日

○英國軍艦來航豫定中メドウエイ及潜水艦ノ部變更
(十月十六日本欄参照)
オズワルド本邦來航ヲ取止メタル旨通知アリタリ

海軍書記恩田時之輔ハ本月十七日死去セリ

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○十月二十日午前十時調

【横須賀】

日進▲山城、八雲、北上、赤城、五十鈴、春日、木曾、比叡、白鷹、口金剛、口鳳翔、

口鳥海、高雄、摩耶

口沖風、峯風、矢風、澤風、口潮、曙

瀧、口天霧、朝霧、夕霧、口神風、野風、

波風、沼風、口松風、春風、旗風、朝風、

口狹霧

富士▲尻矢、膠州、鳴戸、神威

【長浦】

嚴島、檣、口沙風、島風、灘風、夕風、口電、

雷、響、漣、曉

呂二〇、呂二一、呂二二、口呂五九、

呂五七、呂五八、口呂五五、呂五四、

呂五六、口伊一、伊二、口伊四、伊三

口掃五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六

【館山】

楢

【名古屋】

口伊二三、伊二四

【大湊】

口秋風、帆風、太刀風、羽風

大泊

【吳】

榛名、矢矧、那珂、大井、長鯨、扶桑、

古鷹、那智、伊勢、勝力、龍驤、長門、

口日向、口阿武隈、加古、口神通、口球磨、

口磐手、淺間

江風、谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、

口綾波、浦波、敷波、口磯波、吹雪、薄雲、

口藤▲葛▲萩▲薄▲口深雪、白雪、初雪、

口白雲、叢雲、東雲

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、

呂五三、口呂六五、呂六七、口伊二二、

伊二一、口伊五四、伊五三、伊五五、

口伊五八、伊五六、伊五七

掃七、掃八、掃九、掃一〇、口掃一三

石廊、攝津、隱戸、朝日、間宮

(伊六八)

【大阪】

(真鶴)

【赤穂】

韓崎

【龜ヶ首】

口呂二六、呂二七、呂二八

【安藝灘】

愛宕

【長濱】

掃一四

【舞鶴】

鬼怒

呂六六、口伊五二、伊五一、伊五

吾妻▲多摩

口葵、夕顔、菊

呂三一

室戸

(千鳥)、(友鶴)

0447

【佐世保】

足柄、羽黒、川内、霧島、長良、龍田、八重山、常磐、陸奥、由良、名取、夕張、

迅鯨、加賀、青葉、衣笠

梨、竹、樞、夕風、朝風、追風、疾風、

初春、子日、栗、柿、梅、榆、水無月、

臯月、文月、長月、夕月、望月、三月月、

菊月、卯月、睦月、如月、彌生

呂三三、呂二四、呂二五、呂二九、

呂三〇、呂三一、呂六八、呂六四、

呂六三、呂六一、呂六〇、呂六二、

伊六二、伊六一、伊六四、伊六〇、

伊五九、伊六三、伊六五、伊六六、

伊六七 敷島、野島、佐多、知床、鶴見

【鎮海】

蓬、蓮、蓼、朝顔

【旅順】

芙蓉

【安東】

平戸

【青島】

出雲、妙高

【上海】

董

【南京】

對馬

【燕湖】

壁田

【九江】

浦風

【漢口】

安宅、二見、鳥羽、比良、隅田、宇治、勢多、熱海

【沙市】

保津 櫻、柳、桃、檜

【馬尾】

吳竹、若竹、早苗

【廣東】

嵯峨

【作樂地】

駒橋

【航海中】

大和 (十五日舞鶴發—橫須賀)

淀 (十六日旅順發—吳)

早鞆 (十六日「才」發—徳山)

襟裳 (十六日佐世保發—馬公)

天龍、葦、菱 (十七日漢口發—上海)

青島 (十七日橫須賀發—佐世保)

伏見 (十八日漢口發—長沙)

洲崎 (十九日徳山發—旅順)

能登呂 (二十日大孤山沖發—旅順)

(部内限一頁)

C443

海軍公報

第二千八號

海軍大臣官房

昭和八年十月二十一日(土)

○雜款

○旗艦變更
第一航空戰隊司令官ハ昨二十日旗艦ヲ鳳翔ヨリ赤城ニ變更セリ

同 二十三日迄ニ 同
同 二十六日迄ニ 同
同 三十日迄ニ 同
其ノ後ハ
吳 神 神 吳
須 須 須 須
賀 賀 賀 賀
保 保 保 保

○郵便物發送先

特務艦佐多宛
十月二十五日迄ニ到達見込ノモノハ 佐 德 新 德 佐
同 二十八日迄ニ 同 世 舞 山 山 世
十一月一日迄ニ 同 同 同 同 同
同 五日迄ニ 同 同 同 同 同
其ノ後ハ 佐 德 新 德 佐
世 世 舞 山 山 世
保 保 鶴 山 山 保

○在外武官宿所

米國駐在 海軍少佐 宮壽俊男
Lieut. Commander E. Miyazaki, I. J. N.,
% Miss E. B. John,
1910 Mt. Royal Terrace, Baltimore, Md.,
U. S. A.

特務艦野島宛

十月二十二日迄ニ到達見込ノモノハ 佐 旅 佐
同 二十八日迄ニ 同 世 順 保
十一月五日迄ニ 同 同 同 同 同
同 十一日迄ニ 同 同 同 同 同
同 十四日迄ニ 同 同 同 同 同
同 二十日迄ニ 同 同 同 同 同



海軍公報 第二千八號 昭和八年十月二十一日

一〇五五

0449

○艦船所在

指▲印△ハホフ
ヲ要セズ

○十月二十一日午前十時調

【横須賀】

日進▲、山城、鳳翔、八雲、北上、五十鈴、春日、木曾、比叡、白鷹、口金剛、△赤城、口鳥海、高雄、摩耶

雷、響、口沖風、峯風、矢風、澤風、口潮、曙、隴、口天霧、朝霧、夕霧、口神風、野風、波風、沼風、口松風、春風、旗風、朝風、口狹霧

富士▲、尻矢、膠州、大和、鳴戸、神威

【長浦】

嶺、口汐風、島風、灘風、夕風、口電、漣、曉

呂二〇、呂二一、呂二二、口呂五九、呂五七、呂五八、口呂五五、呂五四、呂五六、口伊一、伊二、口伊四、伊三、口掃五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六

【館山】

椿、口秋風、帆風、太刀風、羽風

【大湊】

大泊

【厚岸】

駒橋、榛名、矢矧、那珂、大井、淀、長鯨、扶桑、古鷹、那智、伊勢、龍驤、長門、

【佐世保】

足柄、羽黒、川内、霧島、長良、龍田、八重山、常磐、陸奥、由良、名取、△夕張、△迅鯨、加賀▲、△青葉、衣笠

【大坂】

(真鶴)

【赤穂】

韓崎

【亀ヶ首】

愛宕

【安藝灘】

掃一四

【舞鶴】

吾妻▲、多摩、口葵、夕顔、菊、呂三二

0450

梨、竹、榧、 【子日、初春、 【栗、柿、梅、 【水無月、 【文月、長月、 【夕月、望月、 【三日月、 【卯月、睦月、 【如月、彌生 【二、三、 【二、四、 【二、五、 【二、九、 【三、〇、 【三、二、 【三、六、八、 【三、四、 【六、三、 【六、一、 【六、〇、 【六、二、 【六、二、 【六、一、 【六、四、 【六、〇、 【六、〇、 【五、九、 【六、三、 【六、五、 【六、六、 【六、七	【鎮海】 【蓬、蓮、 【刈萱、芙蓉、 【朝顔 【平戸 【出雲、 【妙高、 【天龍 【葦、 【葦、 【菱	【南】 【對馬 【堅田 【浦風 【安宅、 【二見、 【鳥羽、 【比良、 【隅田、 【宇治、 【勢多、 【熱海	【長沙】 【伏見 【保津 【吳竹、 【若竹、 【早苗	【廣東】 【嵯峨 【航海中】 早鞆 (十六日、 【オハ】 【發— 【徳山— 【襟裳 (十六日、 【佐世保發— 【馬公— 【洲崎 (十九日、 【徳山發— 【旅順— 【伊二三、 【伊二四、 【二十日、 【名古屋發— 【横須賀— 【能登呂 (二十日、 【大孤山沖發— 【旅順— 【勝力 (二十一日、 【吳發— 【伊豫灘— 【鬼怒、 【呂六六、 【伊五一、 【伊五 (二十一 【日安下庄發— 【吳— 【隱戸 (二十一日、 【吳發— 【徳山— 【室戸 (二十一日、 【舞鶴發— 【吳—
--	---	---	---	--

(部内限ナシ)

0451

海軍公報 第二千九號

昭和八年十月二十四日(火)
海軍大臣官房

○令達

官房第四六八七號

昭和八年十月二十四日

海軍大臣

各應長殿

詔書下賜十年記念行事ニ關スル件訓令

昭和八年十一月十日ハ國民精神作典ニ關スル 詔書下

賜滿十年ニ當ルヲ以テ當日ハ左記行事ヲ施行シ此ノ際

一層 聖旨ノ徹底普及ヲ期スベシ

記

一、艦船部隊ニ於ケル行事

詔書奉讀

精神講話(軍裝 勳章一個)

二、官衙學校ニ於ケル行事

前號ニ準ズ

(別紙一葉添)

○辭令

第二課兼第一課勤務ヲ命ス

海軍少佐 朝比奈 秀雄

(各通)

海軍大尉 内田 耕三

海軍技師 關根 利三郎

第二課勤務ヲ命ス

海軍書記 小澤 孝一

第三課勤務ヲ命ス(以上 海軍水路部)

物理學教授助手 嶋 裕

依願解囑託(海軍機關學校)

海軍技手 脇 董

研究部附兼火藥部附ヲ命ス(海軍火藥廠)

○雜款

○司令驅逐艦變更
第十六驅逐隊司令ハ本月二十一日司令驅逐艦ヲ刈萱ヨ

0452

リ芙蓉ニ變更セリ

海軍公報 第二千九號 昭和八年十月二十四日

一〇六〇

0453

▷迅鯨、加賀、▷青葉、衣笠
 梨、竹、樞、▷夕風、朝風、追風、疾風、
 ▷子日、初春、▷栗、柿、榎、榆、▷水無月、
 皐月、文月、長月、▷夕月、望月、三月月、
 菊月、▷卯月、睡月、如月、彌生
 呂二三、呂二四、呂二五、▷呂二九、
 呂三〇、▷呂三二、▷呂六八、▷呂六四、
 呂六三、▷呂六一、▷呂六〇、▷呂六二、
 ▷伊六〇、伊五九、伊六三、▷伊六五、
 伊六六、伊六七
 敷島、佐多、知床、鶴見
 【馬公】▷吳竹、若竹、早苗
 襟裳
 【鎮海】▷蓬、蓮、蓼
 【旅順】▷芙蓉、朝顔、刈萱
 能登呂、洲崎
 【青島】平戶
 【上海】▷田雲
 ▷董、葦、菱
 【南京】對馬
 【蕪湖】堅田
 【九江】浦風
 【漢口】▷安宅、二見、鳥羽、比良、隅田、宇治、
 勢多、熱海
 ▷橙、柳、桃、楡

【長沙】伏見
 【沙市】保津
 【廣東】嵯峨
 【航海中】
 早鞆 (十六日「オハ」發―徳山へ)
 ▷秋風、帆風、太刀風、羽風 (二十二日大湊發―青
 森へ)
 野島 (二十二日佐世保發―旅順へ)
 妙高、天龍 (二十三日上海發―吳へ)
 ▷伊六二、伊六一、伊六四 (二十四日佐世保發―福
 江へ)
 隱戸 (二十四日徳山發―吳へ)
 青島 (二十四日佐世保發―吳へ)

(別紙一葉、部内限一頁)

0455

(昭和八年十月二十四日公報別紙
内閣ニテ定メタル詔書(原方紙))

0456

朕惟フニ國家興隆ノ本ハ國民精神ノ剛健ニ在リ之ヲ涵養シ之ヲ振作シテ以テ國
本ヲ固クセサルヘカラス是ヲ以テ先帝意ヲ教育ニ留メサセラレ國體ニ基キ淵源
ニ溯リ皇祖皇宗ノ遺訓ヲ揭ケテ其ノ大綱ヲ昭示シタマヒ後又臣民ニ詔シテ忠實
勤儉ヲ勸メ信義ノ訓ヲ申ネテ荒怠ノ誠ヲ垂レタマヘリ是レ皆道德ヲ尊重シテ國
民精神ヲ涵養振作スル所以ノ洪謨ニ非サルナシ爾來趨向一定シテ效果大ニ著レ
以テ國家ノ興隆ヲ致セリ朕即位以來夙夜兢兢トシテ常ニ紹述ヲ思ヒシニ俄ニ
災變ニ遭ヒテ憂悚交々至レリ
轉近學術益々開ケ人智日ニ進ム然レトモ浮華放縱ノ習漸ク萌シ輕佻詭激ノ風モ
亦生ス今ニ及ヒテ時弊ヲ革メスムハ或ハ前緒ヲ失墜セムコトヲ恐ル況ヤ今次ノ
災禍甚大ニシテ文化ノ紹復國力ノ振興ハ皆國民ノ精神ニ待ツヲヤ是レ實ニ上
下協贊振作更張ノ時ナリ振作更張ノ道ハ他ナシ先帝ノ聖訓ニ恪遵シテ其ノ實效
ヲ舉クルニ在ルノミ宜ク教育ノ淵源ヲ崇ヒテ智徳ノ竝進ヲ努メ綱紀ヲ肅正シ風
俗ヲ匡勸シ浮華放縱ヲ斥ケテ質實剛健ニ趨キ輕佻詭激ヲ矯メテ醇厚中正ニ歸シ
人倫ヲ明ニシテ親和ヲ致シ公德ヲ守リテ秩序ヲ保テ責任ヲ重シ節制ヲ尙ヒ忠孝
義勇ノ美ヲ揚ケ博愛共存ノ誼ヲ篤クシ入りテハ恭儉勤儉業ニ服シ産ヲ治ム出テ
ラバ一己ノ利害ニ偏セスシテ力ヲ公益世務ニ竭シ以テ國家ノ興隆ト民族ノ安榮
社會ノ福祉トヲ圖ルヘシ朕ハ臣民ノ協贊ニ頼リテ彌々國本ヲ固クシ以テ大業ヲ
恢弘セムコトヲ冀フ爾臣民其レ之ヲ勉メヨ

御名 御璽

攝政名

大正十二年十一月十日

海軍公報 第二千十號

海軍大臣官房

昭和八年十月二十五日(水)

○辭令

海軍中佐 烏越 新一
 高等軍法會議判士ヲ免ス
 東京軍法會議判士ヲ免ス

同 小島 正
 海軍軍事普及部委員ヲ命ス

海軍少佐 川井 繁藏
 恩賜研學資金受賞者銓衡委員ヲ命ス

海軍軍醫大佐 岸川 忠見
 海軍武官任用委員ヲ命ス

海軍軍醫中佐 原 隼人
 海軍軍醫學生藥劑學生主計學生及海軍造船學生造機

學生造兵學生同候補者並生徒志願者身體檢査委員ヲ
 命ス(以上計五名海軍省)

海軍技手 天谷 鍾三郎
 同 岡 五郎

(各通)

同 田中 作次
 同 佐藤 三保太
 同 淺井 銀治
 第二課勤務ヲ命ス(計四水路部)

○雜款

○特務艦隱戸行動豫定

地名	着	發
吳世保	十一月七日	十一月五日
旅順	十一月十二日	九月九日
青島	十一月十五日	十月十四日
佐世保	十一月二十日	十月十八日
吳世保	十一月二十三日	十一月二十一日

○英國軍艦來航豫定中「カムパランド」ノ部中變更

(八月二十九日本欄参照)

地名	着	發
神戸	十月二十七日	十一月八日

海軍公報 第二千十號 昭和八年十月二十五日

一〇六三

0457

宮 島 十一月八日 十日

○郵便物發送先

軍艦愛宕宛

十月二十六日迄ニ到達見込ノモノハ 吳局氣付

同 三十一日迄ニ 同 佐 須賀

其ノ後ハ 横 須賀

特務艦隱戸宛

十一月四日迄ニ到達見込ノモノハ 吳

同 八日迄ニ 同 佐 世保

同 十三日迄ニ 同 旅 順

同 十七日迄ニ 同 青 島

同 二十日迄ニ 同 佐 世保

其ノ後ハ 吳

○着任

新任海軍經理學校長海軍主計少將池邊安雄本月二十一日着任

○電話架設

海軍省軍務局第一課長海軍大佐阿部勝雄宅(日黒區綠

ヶ丘二三三〇)

住原 四八二二番

一〇六四

元海軍教授從四位勳三等荒川重平本月二十五日卒去、明後二十七日午後二時ヨリ同三時迄東京市小石川區西原町一ノ五(市電駕籠町停留場下車)自宅ニ於テ佛式ニ依リ告別式執行

海軍大佐正五位勳四等谷池三郎本月十四日佐世保市高砂町ニ於テ卒去

0458

○艦船所在

指▲印ハハハホ
定ヲ要セズ

○十月二十五日午前十時調

【横須賀】

日進▲、山城、鳳翔、八雲、北上、五十鈴、春日、木曾、比叡、口金剛、口赤城、口鳥海、高雄、摩耶

口電、雷、響、口沖風、峯風、矢風、澤風、口潮、曙、朧、口天霧、朝霧、夕霧、口神風、野風、波風、沼風、口松風、春風、旗風、朝風、椿、口秋風、帆風、太刀風、羽風、富士▲、尻矢、膠州、大和、鳴戸、神威

【長浦】

嚴島、檣、口汐風、島風、灘風、夕風、口狹霧、漣、曉、呂二〇、呂二一、呂二二、呂五九、呂五七、呂五八、呂五五、呂五四、呂五六、口伊一、伊二、口伊四、伊三、口伊二三、伊二四、口掃五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六

【芝浦】

白鷹

【大湊】

大泊、榛名、矢矧、那珂、大井、淀、長鯨、扶桑、古鷹、那智、伊勢、龍驤、勝力、韓崎、長門、口日向、口阿武隈、加古、

口神通、口球磨

江風、谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、磯波、吹雪、薄雲、口藤▲、葛▲、萩▲、薄▲、口深雪、白雪、初雪、口白雲、叢雲、東雲、呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、呂五三、呂六六、呂二六、呂二七、呂二八、口伊五三、口伊二二、伊二一、口伊五四、伊五三、伊五五、口伊五八、伊五六、伊五七、掃七、掃八、掃九、掃一〇、掃一四、石廊、攝津、朝日、室戸、隱戸、間宮 (伊六八)

【大阪】

(真鶴) 愛宕

【大坂】

愛宕

【安藝灘】

掃一三

【徳山】

口磐手、淺間

【舞鶴】

早鞆、吾妻▲、口葵、夕顔、菊、呂三一 (千鳥)、(友鶴)

【宮津】

多摩

【佐世保】

足柄、羽黒、川内、霧島、長良、龍田、八重山、常磐、陸奥、由良、名取、口夕張、口込鯨、加賀▲、口青葉、衣笠

梨、竹、樞、
 区夕風、朝風、追風、疾風、
 区子日、初春、
 区栗、柿、梅、榆、
 区水無月、
 臯月、文月、長月、
 区夕月、望月、三日月、
 菊月、
 区卯月、睦月、如月、彌生
 呂二三、
 呂二四、
 呂二五、
 区呂二九、
 呂三〇、
 呂三二、
 区呂六八、
 呂六四、
 呂六三、
 区呂六一、
 呂六〇、
 呂六二、
 区伊六〇、
 伊五九、
 伊六三、
 区伊六五、
 伊六六、
 伊六七
 敷島、
 佐多、
 知床
 【福江】
 区伊六二、
 伊六四
 【馬公】
 区吳竹、
 若竹、
 早苗
 襟裳
 【鎮海】
 区蓬、
 蓮、
 蓼
 【旅順】
 能登呂
 【青島】
 朝顔
 【上海】
 区出雲
 区董、
 葦、
 菱
 【南京】
 對馬
 【蕪湖】
 堅田
 【九江】
 浦風
 【漢口】
 区安宅、
 二見、
 比良、
 隅田、
 勢多、
 熱海
 区櫻、
 柳、
 桃、
 榆
 【長沙】
 伏見
 【沙市】
 保津

【廣東】 嵯峨

【航海中】

野島 (二十二日佐世保發—旅順へ)
 妙高、天龍 (二十三日上海發—吳へ)
 平戸 (二十四日青島發—大沽へ)
 駒橋 (二十四日厚岸發—作業地へ)
 区芙蓉、
 刈萱 (二十四日龍口發—塘沽へ)
 伊六一 (二十四日佐世保發—福江へ)
 青島 (二十四日佐世保發—吳へ)
 鶴見 (二十四日佐世保發—徳山へ)
 鬼怒、
 区綾波、
 浦波、
 敷波、
 区呂六五、
 呂六七、
 伊五一、
 伊五 (二十五日安下庄發—吳へ)
 宇治 (二十五日漢口發—上海へ)
 鳥羽 (二十五日漢口發—南京へ)
 洲崎 (二十五日旅順發—佐世保へ)

(部内限一頁)

0460

海軍公報

第二千十一號

昭和八年十月二十六日(木)
海軍大臣官房

○通牒

海人第八三號

昭和八年十月二十六日

海軍省人事局長

關係各所轄長殿

士官異動ニ關スル件申進

來十一月十五日附發令セララルル第十三、第十六、第二十四各驅逐隊職員ノ異動ハ轉出入共同隊所屬軍港歸投後實施セラレ度

○雜款

○特務艦知床行動豫定

地名 着

佐世保 十一月四日

上世保 十一月四日

佐世保 八月

發 十一月二日

發 六月

發 十二月

發 十二月

○特務艦室戸行動豫定

佐世保 十二月四日

横須賀 十二月四日

神戶 十二月四日

吳 十二月四日

佐世保 十二月四日

高世保 十二月四日

馬公 十二月四日

佐世保 十二月四日

青島 十二月四日

旅順 十二月四日

佐世保 十二月四日

地名 着

發 十二月一日

發 十二月一日

發 十二月一日

發 十二月一日

發 十二月一日

發 十二月一日

發 十二月一日

發 十二月一日

發 十二月一日

發 十二月一日

發 十二月一日

發 十二月一日

發 十二月一日

德山 十月十三日

吳須賀 十月十三日

横須賀 十月十三日

吳須賀 十月十三日

佐世保 十月十三日

地名 着

佐世保 十月十三日

旅順 十月十三日

青島 十月十三日

佐世保 十月十三日

馬公 十月十三日

高世保 十月十三日

佐世保 十月十三日

吳 十月十三日

神戶 十月十三日

横須賀 十月十三日

佐世保 十月十三日

發 十月十三日

發 十月十三日

發 十月十三日

發 十月十三日

發 十月十三日

發 十月十三日

發 十月十三日

發 十月十三日

發 十月十三日

發 十月十三日

發 十月十三日

發 十月十三日

發 十月十三日

發 十月十三日

發 十月十三日

發 十月十三日

發 十月十三日

發 十月十三日

發 十月十三日

發 十月十三日

發 十月十三日

發 十月十三日

發 十月十三日

發 十月十三日

發 十月十三日

發 十月十三日

發 十月十三日

海軍公報 第二千十一號

昭和八年十月二十六日

一〇六七

04610453

地名	着	發
吳須賀	十一月六日	十一月八日
橫須賀	十一月十日	十一月十二日
佐世保	十一月十三日	十一月十五日
上世保	十一月十七日	十一月二十日
佐世保	十一月二十二日	十一月二十四日
吳世保	十一月二十五日	十二月一日
德山	十二月一日	十二月三日
舞鶴	十二月五日	十二月七日
吳鶴	十二月九日	十二月十二日
橫須賀	十二月十四日	十二月十七日
吳須賀	十二月十九日	十二月二十二日

地名	着	發
吳	十一月三日迄	十一月四日
橫	十一月七日迄	十一月八日
吳	十一月十一日迄	十一月十二日
橫	十一月十三日迄	十一月十五日
吳	十一月十七日迄	十一月二十日
佐	十一月二十二日迄	十一月二十四日
吳	十一月二十五日迄	十二月一日
德	十二月一日迄	十二月三日
舞	十二月五日迄	十二月七日
吳	十二月九日迄	十二月十二日
橫	十二月十四日迄	十二月十七日
吳	十二月十九日迄	十二月二十二日

○郵便物發送先
特務艦室戸宛

其ノ後ハ

吳

退役海軍水路大佐正五位勳三等高野瀨廉一昨二十四日卒去、本二十六日東京市四谷區舟町西迎寺ニ於テ佛式ニ依リ葬儀執行

0462

○艦船所在 指定ヲ要セズ

○十月二十六日午前十時調

【横須賀】 日進▲、山城、鳳翔、八雲、北上、五十鈴、春日、木會、比叡、□金剛、▷赤城、

□鳥海、高雄、摩耶

□電、雷、響、□沖風、峯風、矢風、澤風、

□潮、曙、朧、□天霧、朝霧、夕霧、□神風、

野風、波風、沼風、□松風、春風、旗風、

朝風、椿、□秋風、帆風、太刀風、羽風

富士▲、尻矢、膠州、大和、鳴戸、神威

巖島

楨、□汐風、島風、灘風、夕風、□狹霧、

漣、曉

呂二〇、呂二一、呂二二、□呂五九、

呂五七、呂五八、□呂五五、呂五四、

呂五六、□伊一、伊二、□伊四、伊三、

□伊二三、伊二四

□掃五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六

【芝浦】 白鷹

【大湊】 大泊

【吳】 長門、榛名、矢矧、那珂、大井、淀、

長鯨、天龍、扶桑、古鷹、那智、妙高、

伊勢、龍驤、韓崎、鬼怒、▷日向、▷阿武隈、

加古、▷神通、▷球磨

江風、谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、

□綾波、浦波、敷波、□磯波、吹雪、薄雲、

□藤▲、葛、萩▲、薄▲、□深雪、白雪、初雪、

□白雲、叢雲、東雲

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、

呂五三、□呂六五、呂六六、呂六七、

呂二六、呂二七、呂二八、伊五、

□伊五二、伊五一、□伊二三、伊二一、

□伊五四、伊五三、伊五五、□伊五八、

伊五六、伊五七

掃七、掃八、掃九、掃一〇、掃一四

青島、石廊、攝津、朝日、室戸、隱戸、間宮、

【大阪】 (真鶴) (伊六八)

【兎ヶ首】 愛宕

【安藝灘】 □掃一三

【德山】 ▷磐手、淺間

【舞鶴】 吾妻▲

【小濱】 多摩

呂三二

【千鳥】 (友鶴)

呂三一

呂三二

0463

【佐世保】 足柄、羽黒、川内、霧島、長良、龍田、常磐、陸奥、由良、名取、夕張、迅鯨、加賀、青葉、衣笠

梨、竹、榎、夕風、朝風、追風、疾風、日子日、初春、栗、柿、榎、榆、水無月、皐月、文月、長月、夕月、望月、三月月、菊月、卯月、陸月、如月、彌生

呂二三、呂二四、呂二五、呂二九、呂三〇、呂三一、呂六八、呂六四、呂六三、呂六一、呂六〇、呂六二、伊六〇、伊五九、伊六三、伊六一、伊六五、伊六六、伊六七

敷島、佐多、知床

【松島】 伊六二、伊六四

【馬公】 吳竹、若竹、早苗

【高雄】 襟裳

【鎮海】 蓬、蓮、蓼

【旅順】 能登呂、野島

【塘沽】 芙蓉、刈萱

【太湖】 平戸

【青島】 朝顔

【上海】 出雲

【南京】 董、葦、菱

【對馬】 堅田

【九江】 浦風

【漢口】 安宅、比良、隅田、勢多、熱海

【長沙】 伏見

【沙市】 保津

【廣東】 嵯峨

【作業地】 駒橋

【航海中】 宇治、櫻、柳、桃、檜 (二十五日漢口發—上海)

鳥羽 (二十五日漢口發—南京)

二見 (二十五日漢口發—宜昌)

八重山 (二十五日佐世保發—港外)

洲崎 (二十五日旅順發—佐世保)

勝力 (二十六日吳發—廣島灣)

(附錄七頁、部内限二頁)

C464

海軍公報 附録

昭和八年十月二十六日(木)
海軍大臣官房

○ 雜款

○ 圖書

去ル九月中ニ納庫セル圖書左ノ如シ(海軍文庫)

和漢書ノ部

A〇〇〇 兵 書

宿命の日米戦争 池崎忠孝著 昭和七
東京 先進社

八九元

日本を守る潜水艦

海軍少將 福田一郎著 昭和四
東京 政教社

八九元

太平洋問題と帝國海軍、國際情勢と帝國 海軍大佐 關根邦平著
海軍、國防より見たる日本海の交通 昭和八
東京 海軍省海軍軍事普及部

A二二〇 戰略・戰術・戰務(一般)

P一六六

關東防空演習規程其他 關東防空演習總監部編
昭和八

A二二〇 國防

P一六四

神示の國防 昭和青年會本部編 昭和八
京都府危岡町 天聲社

A五四〇 通信術

P一六三

華盛頓國際無線電信會議復命書
國際無線電信會議帝國委員編 昭和三

P一六八

A五六一 航海圖表

距離表 東京 水路部編 大正九

八九元

C〇一〇 海 事

動力附漁船々名錄(昭和八年版)
農林省編 昭和八 東京 水産新聞社

P一六九

C〇二〇 港 灣

基隆港 臺北 臺灣總督府交通部基隆築港出張所編 昭和三
高雄港 臺北 臺灣總督府交通部高雄築港出張所編 昭和三

八九元

C三一〇 軍事航空

舉國制空 昭和青年會航空部編 昭和八
京都府危岡町 天聲社

P一六三

C四一〇 水路誌

印度西岸水路誌 東京 水路部編 昭和八

八九元

D一二二 日本史―時代史

近世日本國民史 櫻田事變 徳富猪一郎著 昭和八
東京 民友社

八九元

D三三〇 日本海戰史

大日本海戰史談 海軍中將 佐藤鐵太郎著 昭和五
東京 三笠保存會

八九元

D六二〇	傳記・逸話・美談―武人	八九二
	海軍大將村上格一傳 波多野貞夫編 昭和八 東京 双文館	
D六三〇	傳記・逸話・美談―政治家	八九四
	田健治郎傳 東京 田健治郎傳記編纂會編 昭和七	
E三四〇	軍縮問題	八九三
	倫敦軍縮會議と日本 海軍大佐 小楳和輔著 昭和四 東京 文明協會	
	海軍縮小の話 朝日新聞政治経済部編 昭和五 東京 朝日新聞社	
	附、統帥権問題	
	ロンドン會議・統帥権問題	八九五
	第一線同盟編 昭和五 東京 第一線同盟出版部	
E三七〇	戦争ノ問題	八九六
	滿洲事變及上海事變關係發表集(五)	
	東京 外務省情報部編 昭和八	
E三八三	各國ノ問題―支那	P一六〇
	支那滿洲を繞る諸問題 大阪 東亞調査會編 昭和八	
E五二〇	各國々情―支那	P一六七
	滿洲支那領土説の批判と滿洲國の建國 矢野仁一著 昭和八 東京 啓明會事務所 一五九八	
F一五一	都 市	八九四
	横濱復興誌 自第一編 横濱市役所編 昭和七 至第四編	
G二〇二	各國ノ經濟	八九六
	米國戰時計畫經濟論 森 武夫著 昭和七 東京 淺野書店	
G二二一	銀行	八九三
	全銀行總覽 附爲替取組要覽 東京 國際探偵社編 附現代人事錄 昭和三	
G二二五	保險	八九九
	海上保險論綱 F. J. パー著 橋本岸之助譯 昭和四 東京 文雅堂	
H一〇一	産業ニ關スル問題	P一五七
	石油國策と思想問題 金子三四郎著 昭和八 東京 文録社	
H一二二	山 林	八九六
	日本林制史資料 金澤藩 農林省編 昭和八 東京 朝陽會	
	日本林制史資料 熊本藩 農林省編 昭和八 東京 朝陽會	
H二二〇	商 業	八九〇
	商品學講義 西依六八著 昭和三 東京 丸善株式會社	
H二四一	運 輸	八九二
	貨物積載法 沖津金一郎著 大正一五 神戸 海文堂書店	
H二二〇	統計諸表	P一六一
	滿洲國及中華民國在留邦人及外國人人口統計表 (第二十五回) 昭和七年十二月末日現在 外務省通商局編	

昭和米統計表 農林大臣官房統計課編 昭和八	P二六七	J二四二 地 震	大正震災の回顧と其の復興 上、下 千葉縣罹災救護會編 昭和八	八八九五
府縣市統計 昭和三一	P二六八	J二五二 氣象觀測關係	海洋氣象觀測法 神戸 海洋氣象臺編 大正二〇	八九〇三
昭和新竹州第十一統計書 新竹州編 昭和八	P二六八	J三一〇 機械工學	新式皮革技術ニ關スル一資料 (附帶新式化資料一東) 橫濱賀海軍工廠造兵部編 昭和八	八八八三
日露年鑑 東京 日露通信社編 昭和八	八九八	J三三三 土 木	昭和一等水準點檢測成果蒐錄 陸地測量部編 昭和八	P二六二六
昭和日本外國貿易年表 下篇 大藏省編 昭和八	P二六〇	J三一四 建 築	高等建築學 第三卷 建築材料 田中正義著 昭和八 東京 常盤書房	八八九四
昭和朝日年鑑 附最日本名所案内 大阪朝日新聞社編 昭和八	P二六〇五	J四〇〇 醫 學	新日本食品成分總攬 佐伯雄等著 昭和八 東京 南江堂書店	八九一五
昭和每日年鑑 附現代日本人名錄 大阪每日新聞社編 昭和八	P二六三〇	K一四四 修身書	幼學綱要讀本 東京 皇訓成美會編 昭和八	八九三三
昭和國民年鑑 東京 國民新聞社編 昭和八	P二六三二	K二〇〇 宗 教	救世と皇道大本 芦田萬象編 昭和八 京都府危岡町 天聲社	P二六三三
I一七〇 日本地誌—事情				
大阪府政要覽 大阪府編 昭和四	八九四七			
I一五〇 紀行—外國				
松波昭六歐行 東京 松波仁一郎著 昭和八	八九九七			
I六〇〇 地 圖				
最新大日本全圖 黑岩芳馬著 昭和八 東京 雄文館	A六〇四			
新最近世界地圖 東京 三省堂編輯所編 昭和八	A六〇五			
J二一〇 物理學				
實驗音響學 小幡重一著 昭和八 東京 岩波書店	八九〇九			

海軍公報 附錄

三

0467

道院世界紅十字會に就て 人類愛善會總本部編 昭和八 京都府危岡町 天路社	P 一六三五	官應刊行圖書目錄 自第二十號 內閣印刷局編 至第二十四號 昭和七—八	至 P 一六〇六
皇道の榮 有留弘泰著 昭和八 京都府危岡町 天路社	八九三	九州帝國大學圖書目錄 第三卷(ターソ) 九州帝國大學附屬圖書館編 昭和八	P 一六二五
K 三〇〇 教 育		M 二〇〇 叢 書	
K 三六〇 學校・教科書		蘭領印度主要和稅關係法規 臺灣總督官房調査課編 南支那及南洋調査資料二十三輯 昭和八	P 一五九九
神戸高等商船學校一覽 昭和八年 神戸高等商船學校編 昭和八	P 一五九六	佛國に於けるソ聯間諜機關活動、共產黨の 佛國軍隊破壞工作 佛國共產黨の組織 (ソ聯研究資料 第二二二號) 滿鐵經濟調査會編 昭和八	P 一六〇三
K 四一三 社會政策		M 四一〇 新 聞	
赤化防止具體策 徳永俊次著 昭和八 (附、極左日常用語) 東京 日本社會問題通信社	P 一六〇四	昭和新聞總覽 日本電報通信社編 昭和四	八八九
K 四三六 共 産 黨		M 五一〇 書 畫	
革命運動を暴く 安江仙弘著 昭和六 東京 叢華社	八九五	帝國美術 美術展覽會圖錄 第一部繪畫 院第十四回 日本畫之部	A 六〇三
L 一〇〇 文 學		行幸 大阪府歴史繪 大阪府編 昭和四	A 六三一
改標準 日本文法 松下大三郎著 昭和三 東京 紀元社	八九五	M 五四〇 各種紀念寫真帖	
L 二一〇 語學—英語		世界統一大英雄杉原義威閣下同寫諸名士寫真帖 杉原義威著 昭和二 廣島 鐵城會	A 六〇六
中英語商業通信 中島鐵造著 大正一五 東京 丸善株式會社	八九二	滿鐵寫真帖 南滿洲鐵道株式會社編 一九二六	A 六〇七
易き 商業英語 前田定之助著 昭和三 東京 有精堂書店	八九六	昭和六 短期現役兵紀念寫真帖 横須賀海兵團編 昭和六	A 六一〇
M 一三〇 圖書目錄		萬二千峯朝鮮金剛山 滿鐵京城鐵道局編 大正一三	A 六一一
増加圖書目錄 自昭和七年一月 鐵道省圖書館編 至昭和七年十二月	P 一六〇六		

皇宮 田中逸堂編 昭和七 東京 大日本皇道奉贊會	A 六三	1932, London, John Long.	8472
明治天皇聖蹟 明治天皇聖蹟保存會編 東北北海道御巡幸之卷 上 昭和六	A 六二五	(A420. Seamanship) Tokio Koto Shosen Gakko.-The Plates and Diagrams for Navigation Class. Syoowa 4, Tokyo.	8470
大犬養內閣記念寫真帖 田久江南編 昭和七 東京 聯合寫真通信社	A 六三〇	(O300. Aeronautics) Hubbard, Henry V. & Others.-Air Ports, Their Location, Administration and Legal Basis. 1930, Cambridge, Harvard University Press.	8481
M 五五〇 戰役紀念寫真帖 吉山秋裕著 昭和五 東京 支那戰局大觀編輯所	A 六二七	Government Printing Office.-Eighteenth Annual Report of the National Advisory Committee for Aeronautics 1932. 1932, Washington.	8482
支那戰局大觀 支那戰局大觀編輯所	A 六二七	(D300. History of the Sea Warfare-General) Eardley-Wilmot, S.-Our Navy for a Thousand Years. London, Sampson Low, Marston & Co.	8473
M 五六〇 演習紀念寫真帖 特別大演習統監部編 昭和二	A 六二三	(D620. Biography of the Englishman) The Marquess of Zetland.-Lord Cloner. 1932, London, Hodder and Stoughton.	8465
昭和特別大演習寫真帖 (海軍) 特別大演習統監部編 昭和二	A 六二三	(E210. Problem about the War) Whyman, Neville.-The Chinese-Japanese Puzzle. 1932, London, Victor Gollancz.	8480
M 六〇〇 辭書類 岸田 愚著 昭和八 東京 文英閣	A 六二七	(E300. Condition of Powers-General)	
M 六一〇 辭書類—國語 上田萬年著 昭和三 東京 富山房	A 六二三		
ローマ字 國語辭典 東京 富山房	A 六二三		
M 六三〇 辭書類—外國語 井出利一編 昭和四 東京 太陽堂書店	A 六二〇		
佛和新辭典 佛和新辭典 研究社辭書部編 昭和四 東京 研社究	A 六二一		
新英和小辭典 研究社辭書部編 昭和四 東京 研社究	A 六二一		
洋書ノ部			
1. ENGLISH BOOKS. (A080. Spy) Woodhall, Edwin T.-Spies of the Great War.			

0469

- Eddy, Sherwood.-The Challenge of the East. 1931, New York, Farrar & Rinehart. 8474
- (E320. British Condition)
Elliott, W. Y.-The New British Empire. 1932, New York, Whitesey House. 8476
- (E380. Various Countries' Condition)
Worcester, Dean C.-The Philippines Past and Present. 1930, New York, The Macmillan Co. 8478
- (F104. British Politics)
Tabaree, Leonard Woods.-Royal Government in America. 1930, New Haven, Yale University Press. 8479
- (F200. Law-General)
His Majesty's Stationery Office.-Manual of Air Force Law. 1933, London. 8464
- (H220. Year Books)
Lloyd's Register of Shipping.-Lloyd's Register of Shipping 1933-34. Vol. I & II. 1933, London. 8471
- (I220. Account of Travel-General)
Taft, Henry W.-Japan and America. A Journey and a Political Survey. 1932, New York, The Macmillan Co. 8477
- (J322. Electric Engineering-Communication)
- The National Research Council of Japan.-Report of Radio Research in Japan. 1933, Tokyo. P294
- (K000. Philosophy-General)
The Herald Press.-The Essence of Bushido. 1933, Tokyo. P297
- (M100. Catalogue)
Kyushu Imperial University Library.-Catalogue of the Kyushu Imperial University Library, Vol. II. I-Z. 1933, Hakkoaka. P295
- (M400. Fine Arts)
Meiji jingu Hosankai.-Explanatory Notes on the Pictures in the Memorial Picture Gallery, Meiji jingu. 1933, Tokyo. P296
- (M540. Dictionary-Language)
Eisenkel, Arthur.-A New Dictionary of the English and Italian Languages. 1908, Paris, Garnier Brothers. 8466
- Angeli, Arthur.-A New Dictionary of the English and Spanish Languages 1911, Paris, Garnier Brothers. 8467
- Rashange, F. M.-Hill's Dano-Norwegian-English and English-Dano-Norwegian Vest Pocket Dictionary. 1929, London Leopold B. Hill. 8469

0170

(M580. Dictionary-Nautical Terms)

Dunnage, James A.-Shipping Terms and Phrases, 1925, London, Sir Isaac Pitman and Sons.

S468

2. DEUTSCHE BÜCHER.

(X600. Die Wissenschaft)

Kleinlogel, A.-Mehrstellige Rahmen. II Band, Lieferung 3 & 4, 1933, Berlin, Wilhelm Ernst & Sohn 1974 & 1975

0471

海軍公報 第二千十二號

昭和八年十月二十七日(金)
海軍大臣官房

○ 辭令

海軍艦政本部勤務海軍技手 田島 久吉
佐世保海軍工廠附ヲ命ス(計五回海軍省)

海軍少佐 松崎 彰

總務部第一課勤務ヲ命ス

海軍造船大佐 村上 義次

第四部勤務ヲ命ス(以上計四回海軍艦政本部)

海軍技手 村上 富司

第二部勤務ヲ命ス

在長崎首席監督官ノ命ヲ承ケ服務スヘシ(計五回同)

海軍機關中佐 桑原 興四郎

在大阪首席監督官ノ命ヲ承ケ服務スヘシ

海軍造兵大尉 巖谷 英一

在名古屋首席監督官ノ命ヲ承ケ服務スヘシ(以上計四回)

海軍航空本部

海軍兵學校ニ於ケル理化學教授助手ヲ囑託ス
但報酬月額七拾五圓ヲ給シ部内限判任官ヲ以テ待
遇セラル(計五回海軍兵學校)

杉井 裕

○艦船所在

指[△]定[△]ヲ要[△]セズ

○十月二十七日午前十時調

【横須賀】

日進[△]、山城、鳳翔、八雲、北上、五十鈴、春日、木曾、比叡、白鷹、口金剛、赤城、

口鳥海、高雄、摩耶

口電、雷、響、口沖風、峯風、矢風、澤風、

口潮、曙、朧、口神風、野風、波風、沼風、

口松風、春風、旗風、朝風、口秋風、帆風、

太刀風、羽風

富士[△]、尻矢、膠州、大和、鳴戸、神威

【長浦】

嚴島、横、口汐風、島風、灘風、夕風、口天霧、

朝霧、夕霧

呂二〇、呂二一、呂二二、口呂五九、

呂五七、呂五八、口呂五五、呂五四、

呂五六、口伊一、伊二、口伊四、伊三、

口伊二三、伊二四

口掃五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六

【館山】

口狹霧、漣、曉

【大湊】

長門、榛名、矢矧、那珂、大井、淀、

長鯨、天龍、扶桑、古鷹、那智、妙高、

【吳】

長鯨、天龍、扶桑、古鷹、那智、妙高、

伊勢、龍驤、韓崎、鬼怒、勝力、口日向、

口阿武隈、加古、口神通、口球磨

江風、谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、

口綾波、浦波、敷波、口磯波、吹雪、薄雲、

口藤[△]、葛、萩、薄[△]、口深雪、白雪、初雪、

口白雲、叢雲、東雲

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、

呂五三、口呂六五、呂六六、呂六七、

呂二六、呂二七、呂二八、伊五、

口伊五二、伊五一、口伊二三、伊二一、

口伊五四、伊五三、伊五五、口伊五八、

伊五六、伊五七

掃七、掃八、掃九、掃一〇、掃一四

石廊、攝津、朝日、室戸、隱戸、間宮

(伊六八)

【大阪】(真鶴)

【危ヶ首】愛宕

【安藝灘】口掃一三

【徳山】口磐手、淺間

【舞鶴】吾妻[△]、多摩

口葵、夕顔、菊

呂三一

【佐世保】(千鳥)、(女鶴) 足柄、羽黒、川内、霧島、長良、龍田、

0473

常磐、八重山、陸奥、由良、名取、夕張、
 迅鯨、加賀、青葉、衣笠、
 梨、竹、樞、夕風、朝風、追風、疾風、
 子日、初春、栗、柿、榊、楡、
 水無月、皐月、文月、長月、夕月、望月、
 三月、菊月、卯月、睦月、如月、彌生、
 呂三、呂四、呂五、呂六、
 呂三〇、呂三二、呂六八、呂六四、
 呂六三、呂六一、呂六〇、呂六二、
 伊六〇、伊五九、伊六三、伊六二、
 伊六一、伊六四、伊六五、伊六六、
 伊六七

敷島、知床

馬公、吳竹、若竹、早苗

高雄、襟裳

鎮海、蓬、蓮、蓼

旅順、能登、野島

塘沽、芙蓉、刈萱

太湖、平戸

青島、朝顔

上海、出雲

南、對馬

燕、壘田

九、浦風

漢口、安宅、比良、隅田、勢多、熱海

長沙、伏見

沙市、保津

廣東、嵯峨

航海中

宇治、樫、柳、桃、檜 (二十五日漢口發—上海)

鳥羽 (二十五日漢口發—南京)

二見 (二十五日漢口發—宜昌)

洲崎 (二十五日旅順發—佐世保)

駒橋 (二十六日作業地發—橫須賀)

早鞆 (二十六日德山發—佐世保)

佐多 (二十六日佐世保發—德山)

青島 (二十七日吳發—橫須賀)

(部内限一頁)

0474

海軍公報 第二千十三號

昭和八年十月二十八日(主)
海軍大臣官房

○令 達

官房第四七五〇號
來十一月三日明治節ニ付在京諸官ハ當日參賀ニ關シ左ノ通心得ベシ

昭和八年十月二十八日

海軍大臣

- 一、午前九時ヨリ同十一時迄ニ參賀スベキ者
當日宴會ニ召サレザル勅任官同待遇
- 一、午後一時三十分ヨリ同三時迄ニ參賀スベキ者
奏任官同待遇並ニ判任官以下ニシテ位勳ヲ有スル者

- 一、午前十一時本省ニ參賀スベキ者
判任官同待遇ニシテ位勳ヲ有セザル者
但シ第二項以下ニシテ有爵者有位華族ノ向ハ除ク
- 服裝(當中へ參賀ノ向) 正裝 大禮服

○通 牒

軍務二第三七八號

昭和八年十月二十七日

海軍省軍務局長

吳鎮守府參謀長殿
第一、第二艦隊

外國船内地不開港場寄港ノ件通牒

外國船内地不開港場寄港出願ニ對シ今般左記ノ通免狀交付ノ旨通牒有之候

記

第一三四號 免 狀

- 一 船 名 無 名 「THE GOE MAROE」
(龍宮丸) 附屬船
- 一 國 籍 和 蘭
- 一 種 類 モーター、ボート
- 一 船主氏名及國籍 和蘭人 ビー、デンフリーズ

海軍公報 第二千十三號 昭和八年十月二十八日

一〇七五

0475

船長氏名及國籍	約十七呎
網具ノ裝置	—
橋ノ數	—
寄港ノ目的	乗員救命及通船用トシテ本船ト同航ノ爲
航路	大阪灣ヨリ瀬戸内海ヲ經テ廣島縣ニ至ル各沿岸
寄港地名	兵庫縣 岩屋、青木、深江、芦屋、打出、西ノ宮、須磨、明石、高砂、飾磨、室津、那波、相生、坊勢島、家島 大阪府 堺、岸和田、貝塚、住吉、濱寺 香川縣 小豆島、高松、多度津、粟島、丸龜 廣島縣 福山、鞆、宮島
但シ軍港要港規則又ハ要塞地帶法ニ依リ禁止又ハ制限セラレタル地域ヲ除ク	

右不開港場ニ寄港スルコトヲ特許ス

本免狀有効期間ハ昭和八年十月二十六日ヨリ昭和九年九月二十七日迄トス但シ必要ノ節ハ同期間内ト雖其ノ寄港ヲ差止ムルコトアルヘシ

昭和八年十月二十六日

遞信大臣

(裏面)

航行心得

- 一 本船ハ帝國法令條約ヲ遵守スルハ勿論表面記載ノ各港ニ於テ警察規則及各種港則ヲ遵守スベシ
- 二 本免狀ハ何時タリトモ當該官吏ノ求メニ應ジ其ノ検査ヲ受クベシ
- 三 本船ハ本免狀記載ノ目的外ニ使用スベカラズ殊ニ表面記載ノ各港間ニ於テ貨物旅客ノ運搬ヲ爲スベカラズ
- 四 每航行ニ於ケル巡航日時ヲ豫定シ就航前本船所有者ノ住所ヲ管轄スル地方長官ニ届出ツベシ巡航日時ヲ著シク變更シタルトキ亦同シ
- 五 每航行ニ於ケル就航前本船々員及船員以外ノ乗船者ノ氏名、國籍、住所及職業ヲ前項ノ地方長官ニ届出ツベシ

0476

- 六 本免狀ニ記載セル船長ヲ變更セムトスルトキ又ハ船長以外ノ者ヲシテ其ノ職ヲ執ラシメムトスルトキハ豫メ第四項ノ地方長官ニ届出ヅベシ
- 七 瀬戸内海ノ航行ニ付テハ大阪府佐野ト兵庫縣洲本、兵庫縣佛崎ト徳島縣栗田、愛媛縣長濱ト大分縣鶴崎、山口縣植生ト福岡縣苅田ヲ結ブ線外ヲ航行スベカラズ
- 八 廣島附近ノ海面ニ付テハ五日市、津久根島及西能美島ノ西北端ヲ連スル線以東ニ立入り且早瀬及音戸ノ兩水道ヲ通過スベカラズ
- 九 本航行心得ニ違背スルトキハ直ニ特許ヲ取消スベシ
- 一〇 特許期間満了ノトキ又ハ特許ヲ取消サレタルトキハ直ニ第四項ノ地方長官ヲ通ジ本免狀ヲ返納スベシ
- 一一 本船ハ出帆前地方廳ノ檢閲ヲ受クベシ又陸海軍ニ於テ必要ト認ムルトキハ隨時檢閲スルコトアルベシ

○ 辭 令

海軍公報 第二千十三號 昭和八年十月二十八日

舞鶴要港部勤務海軍技手 加柴 満雄
 海軍艦政本部勤務ヲ命ス
 歸朝ヲ命ス 同 寶魚 龍太郎
 佛國へ出張ヲ命ス 同 妹尾 要太郎
 給二級俸 同 石川 福松
 (各通) 同 石川 福松
 同 平井 豊
 依願免本官(以上^{正七}海軍省)

○ 雜 款

○ 總代
 天皇陛下陸軍特別大演習御統裁ヲ了ラセラレ來三十一日東京驛へ還幸アラセラルルニ付勅、奏任官總代トシテ同日東京驛ニ於テ奉迎スベキ旨左記諸官ニ訓令セラレタリ
 勅任官總代 海軍少將 野邊田 重興
 奏任官總代 海軍機關大佐 澁谷 隆太郎

○ 軍艦陸奥行動豫定
 地名 着 發
 佐世保 十月三十日 十月二十九日
 吳

0477

○郵便物發送先
軍艦陸奥宛

自今 吳

特務艦知床宛

十一月十一日迄ニ到達見込ノモノハ 佐世保

同 十六日迄ニ 同 徳山

同 十七日迄ニ 同 吳須賀

同 二十三日迄ニ 同 同

同 二十七日迄ニ 同 同

其ノ後ハ 佐世保

○郵便物發送先變更 (十月二十五日
本欄参照)

軍艦愛宕宛

十月三十日迄ニ到達見込ノモノハ 吳局氣付

其ノ後ハ 横須賀

○電話架設

軍令部第三部長海軍少將津田靜枝宅(本郷區曙町一九)

大塚 四四八番

○改姓

海軍軍醫中尉松尾 強ハ田中ト改姓ノ旨本月十八日届
出デタリ

0478

○艦船所在

△印ハ、ハカブ
指定シ要セズ

○十月二十八日午前十時調

【横須賀】

日進△、山城、鳳翔、八雲、北上、五十鈴、春日、木曾、比叡、白鷹、口金剛、▷赤城、口鳥海、高雄、摩耶

口電、雷、響、口沖風、峯風、矢風、澤風、口潮、曙、朧、口神風、野風、波風、沼風、口松風、春風、旗風、朝風、口秋風、帆風、太刀風、羽風

【長浦】

富士△、尻矢、膠州、大和、鳴戸、神威、嚴島、口汐風、島風、灘風、夕風、口天霧、朝霧、夕霧

呂二〇、呂二一、呂二二、口呂五九、呂五七、呂五八、口呂五五、呂五四、呂五六、口伊一、伊二、口伊四、伊三、口伊二三、伊二四、口掃五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六

【館山】

口楢、口狹霧、漣、曉

【清水】

口大泊

【大湊】

長門、榛名、矢矧、那珂、大井、淀、長鯨、天龍、扶桑、古鷹、那智、妙高、

【大阪】

(真鶴)

【大坂】

(伊六八)

【魚ヶ首】

愛宕

【安藝灘】

掃一三

【徳山】

磐手、淺間

【舞鶴】

吾妻△、多摩、口葵、夕顔、菊、呂三一

【佐世保】

(千鳥)、(友鶴)、足柄、羽黒、川内、霧島、長良、龍田、

0479

